

戦争法案 必ず廃案に

電車に乗って 平和を叫ぶ

大垣駅→養老駅→駒野駅

岐阜・西濃アクション

岐阜県西濃地域で「電車に乗って平和を叫ぶ」戦争法案反対デモが8月30日に行われました。3カ所でのべ500人が「戦争やめろ」「憲法を守れ」と訴えました。主催は「西濃アクション」実行委員会。



養老駅の車内で「アベ政治を許さない」ボードを掲げる参加者＝8月30日

3カ所のべ500人参加

出発地の大垣駅には200人が集結。実行委員長は山田秀樹氏（弁護士）。「戦争法案は中身もやり方もひどい。参議院での強行を止めるには国民一人ひとりの行動しかない。必ず廃案に追い込もう」と呼びかけ、リレートークで7歳と4歳の子を持つ母親は「安保法案のニュースをみて危ないと思うたが、デモに行く勇気もなかった。何かしたいと同じ思いの人と」「西濃アクション」実行委員会がこめてきた「アベ政治を許さない」ボードを立ち上げ、声明をだしたと報告。涙声で声明を読み上げ、子どもたちを戦場に送らない決意に参加者もつなぐ大きな拍手を送りました。大学教授や弁護士が次々と口にしたあと、参加者は一斉に「戦争やめろ」のボードを高く掲げ、戦争法案阻止を訴えました。

大垣集会所のあつ、養老駅で養老駅へ。普通列車は1車両に数人程度が車内は満員に。一般乗客もスタッフの配るチラシに目を通し、「頭張ってなさい」と声をかけていました。参加者は、養老駅、駒野駅でも集会所を開いてアピール。その後、国道258号を駒野交差点まで歩くサイレントアクション。一斉にカラーボードを掲げ

る。車からトラック、バイクも出て。全国が一つになって安倍政権を包囲した。これ70年代後半の男性は「こんなユニークな集まりを弾ませていました。」

戦場の血で白衣汚すな

愛知県医療介護福祉労働組合連合会（医労連）が8月29日、医師看護師ら22人が「戦争法案を政権は二度も嘗て不能になっていいます。こんな法案絶対に通しては行けません」と述べ、看護師が赤紙で召集された歴史を振り返り、戦争法案の廃案を訴えました。

富山で若者パレード

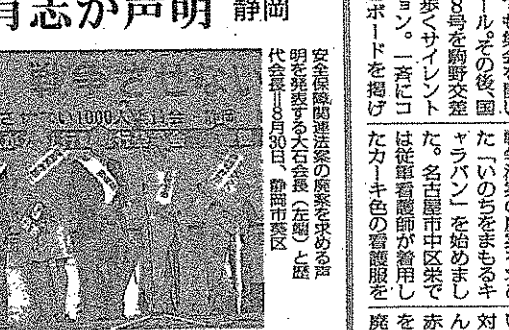
「若者憲法集会富山県実行委員会」は8月30日、富山市のオーパ広場で戦争法案に反対する集会を開き、市内をパレードしました。10代、20代の若者や小さな子ども連れのママなど100人が参加しました。

参加した18歳の男子高校生もマイクを握り、自衛隊は海外に出ても戦争の支援をしないやうにありと強調。「アベ政治を許さない」と訴え、花を飾る人、旗を掲げる人、命を懸けて考えていることに怒りを感じている。今後こうした行動に参加したい」と話していました。

静岡県弁護士会歴代会長有志が声明

静岡県弁護士会の大石康留会長は8月30日、静岡市で行われた「いのちを守る戦争させない・9条を守る静岡総がかり行動」のなかで、歴代会長有志（23人）による安全保障関連法案の廃案を求める声明を発表しました。歴代会長有志の声明は県弁護士会では初めてのことで、歴代会長の小林達美、河村正史、三井義廣、興津哲雄、青島伸雄、鈴木敏弘、伊東哲夫、小長谷保の各氏も舞台に上がりました。声明では、集団的自衛権を戦争放棄、交戦権の否認を定

安全保障関連法案の廃案を求める声明を公表する大石会長（左）と歴代会長＝8月30日、静岡市南区



めた憲法9条の解釈上いかなる意味においても許容できず憲法違反だと批判し、「基本的人権の擁護と社会正義の実現を使命とする（弁護士法第1条）私たち弁護士としては本法案の成立を望んで見過ごすことはできない」と廃案を強く求めています。



雨の中、長久保宿から中山道をすすむアベ行進参加者＝8月30日、長野県長和町

雨にもアベにも負けぬ

長野県長和町で8月30日、戦争法案反対デモが行われました。長和町では初めてのデモ。「町民はアピールするが行動しように」と声を上げたことでした。「コールもやる」と参加者から声が出た。デモは初めてという羽田田真知子さん（67）は「行進は20人だけ、意見広告に名前を出した300人の町民がいる。みんな声をあげたい」と語り、途中の集落で女性が「がんばれと女闘争で大きく手を握って声をかけ、思っていても行動できないのに、きつかけは共産党の栗原晴史町議と無所属町議、前任職などがよびかけた学習会で「何か行動しよう」と声を上げたことでした。「がんばれと女闘争で大きく手を握って声をかけ、思っていても行動できないのに、きつかけは共産党の栗原晴史町議と無所属町議、前任職などがよびかけた学習会で「何か行動しよう」と声を上げたことでした。」

戦争反対言えるうちに

静岡三島 日大教授・学生も参加
静岡県三島市で8月29日、「ストップ戦争法! 三島アクション」(実行委員会主催)が行われ、約300人が参加しました。集会の後、市内をパレード。市民の注目を集め、一緒に手拍子する小学生もいました。

子に平和のバトン渡そう

新潟上越 800人が集会・デモ
新潟県上越市で8月30日「戦争法案NO! 全国100万人大行動上越集会所」が行われ、デモ行進しました。雨の中、上越地区3市から800人が駆けつけました。

東御市でも

東御市では同日、いのちを守る市民パレードと「アベ政治を許さない」デモが行われました。「デモは生まれて初めて」という人や飛び入りも含め80人が商店街をパレードしました。

戦争法案 行動予定

三重県いなほ市で軽トラパレード4日午前9時、いなほ市役所前集合

東御市では同日、いのちを守る市民パレードと「アベ政治を許さない」デモが行われました。「デモは生まれて初めて」という人や飛び入りも含め80人が商店街をパレードしました。大波を持って参加した男性は「この町では画期的だ」と語り、4歳の子を連れた母親が「日本は戦争するよ」とつぶやいた。大きな拍手に包まれました。女子学生2人も発言し、大きな拍手に包まれました。署名をもつ朱城忠さん(69)は「僕のような高齢者が「お国の役に立たない」とと被弾を受ける。そんな世の中に戻ってはいけません」と訴えました。医師、税理士、保育士、母親なども発言し、母親など、保守系、共産系、民主系、保守系の現職市議、社民党の元市議らもあいさつしました。